

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学3							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	2期	神田 美樹		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として必要な、胸部・腰部の骨折・脱臼・軟部組織損傷についての知識を学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として胸部・腰部の疾患に対し正しく対応するために、解剖・機能・病態・後療法等に必要な知識を習得する。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1.胸部・腰部の解剖と機能を把握できる。 2.患者の病態から該当疾患を推察できる。 3.適切な整復・固定・後療法を説明できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学はすべての基本となるので日々復習しておく。配布されたテキストは授業前に目を通し授業の概要を把握しておく。							
教科書・参考書							
『柔道整復学・理論編 第6版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)			『柔道整復学・実技編 第2版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)				
受講上の注意							
資料はなくさないこと(再配布はしません)							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	胸椎部の解剖と機能 胸椎の骨折①			p.200～	教科書・配布プリント		
第2回	胸椎の骨折② 胸椎の脱臼			p.203～	教科書・配布プリント		
第3回	胸部(胸・背部)の軟部組織損傷①			p.206～	教科書・配布プリント		
第4回	胸部(胸・背部)の軟部組織損傷②			p.208～	教科書・配布プリント		
第5回	腰部・仙骨部の解剖と機能 腰椎の骨折①			p.210～	教科書・配布プリント		
第6回	腰椎の骨折② 腰椎の脱臼			p.212～	教科書・配布プリント		
第7回	腰部の軟部組織損傷①			p.216～	教科書・配布プリント		
第8回	腰部の軟部組織損傷② 注意すべき疾患			p.219～	教科書・配布プリント		
第9回	まとめ				教科書・配布プリント		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院および整形外科で臨床に携わった実務者の視点から講義する。							
メールアドレス							
kanda-t@nihonisen.ac.jp							